



県連だより

第74号
平成25年12月6日
発行
神奈川県FD連盟

文部科学省表彰（10月11日）

「生涯スポーツ優良団体」
神奈川フォークダンス普及会

「生涯スポーツ功労者」
加藤京子

おめでとうございます



夏期指導者講習会

行事部 宮田 多美子

今年の夏期指導者講習会は、近いようでちょっと遠い千葉の幕張で開催されました。

参加人数は神奈川から162名、千葉は126名。昨年神奈川で開催されたときの千葉の参加者は59名でしたので大幅増員です。

「ホテルニューオオタニ幕張」に宿泊、というのが大きな魅力だったようです。

メイン講師は長野の新藤陽三講師。講習曲は7曲。その中の一曲「ルッキング・フォー・ア・パートナー」を指導させていただきました。

私のような者がーと恐縮しましたが実に多くのことを得ることができました。

特に収穫になったのは参加者の方からの質問のありがたさです。私がお伝えしそびれた点を的確に質問していただき、それに答えることで講師としての責務を果たすことができました。質問に救われる、と感じる出来事でした。

このような機会を与えていただき心から感謝申し上げます。





公益社団法人日本フォークダンス連盟と

神奈川県支部との関係

理事長 内田 美智子

日本フォークダンス連盟は平成25年4月から公益社団法人になりました。公益は誰でも申請すればなれるものではなく、社団法人、一般社団で実績がなければ公認されません。経験豊かな人たちが何年も時間をかけて検討されて認められました。

◎公益社団法人の会員

正会員：法人の目的に賛同し、都道府県におけるフォークダンスを統括する団体の代表者で支部長等。（総会は正会員をもって構成され議決権を持っている。）

普通会員：法人の目的に賛同し事業に協力する個人

特別会員・賛助会員：事業に協力する団体

正会員は議決権を持つ大事な役目です。支部が充実した活動が出来るように働きかけもします。普通会員も日連の各種行事に参加して活発に活動していただくと、さらに充実していきます。

◎スクール

中央のスクールは毎年、教育事業委員会と中央検定委員会が行ってしまし

たが、最近参加者が少なくなってきているため平成26年度は行いません。特に地方の方が資格を取り易くするために「フォークダンス公認スクール開設規程」を変更しました。

◎なぜ支部に公益がつけられないの

日本フォークダンス連盟の役員人事（天下りはないのか）、会費の使用、事業など公の人たちに益になっているか、内閣府から監査がはいり指導もされます。今でも繁雑で大変なのに、全国都道府県、事業並びに連結決算をする事は並大抵の事ではありません。また、公益をつけますと支部も監査がはいり負担が大きくなります。各支部は今までと同じように独自に活動してもらうように公益はつけられません。

ただし、県の検定委員会は「公益社団法人日本フォークダンス連盟神奈川県検定委員会」となり、委員は日連から委嘱されます。

◎支部（神奈川県）

支部は任意団体ではありますが「日本フォークダンス連盟神奈川県支部」と称します。日本フォークダンス連盟の





基礎をなす組織で、連盟の支援とともに緊密なる連携を保ちフォークダンスの普及・振興を目的として活動する。また、日連の理事及び正会員の選出に協力する。円滑な運営を図るため各支部の実情に応じた支部規約を制定する。日連が提示している支部の規約は神奈川県のもので参考にされています。公益に変わったので支部規約も変わってくるでしょう。

◎助成金制度

日連は各支部の普及活動に助成金を出しています。年間250万円の予算

です（一つの行事に10～15万円）。大いに利用しましょう。また、毎年各支部に団体育成費として普通会员一人につき300円の助成をしています。一人でも多くの会員を増やすことで普及につながります。

◎日連の総会

総会は議決権を持っている正会員で構成され、平成27年度から6月に変わります。支援する支部と緊密な連携を保つため、来年2月に事務担当者会議を開きます。

フォークダンススクール「養成コース」

養成部 浅野 雅子

「フォークダンスをもっと楽しく踊るために、またこの楽しさをたくさんの人たちに知ってもらうために学びます。」これが養成コースの趣旨です。

今年も36回目の養成コースが開講されました。

平成25年10月13日～平成26年3月2日までの間、月1回、半年間続きます。

1回目は1日コースで、午前中はFD用語と実技を勉強し、午後からは基礎ステップと楽しい踊りのカリキュラムになっています。

2回目～4回目は午後からのコース、最後の6回目は午前中は復習をして皆

で昼食会をしてから、ミニパーティをして閉講式を迎えます。講師が毎回変わることも養成コースの特色です。

高齢化社会に入り初心者講習会を開催しても、新しい人を確保するのが困難な現状です。その中で受講生を集めスクールを運営していくにも、いろいろな問題が発生してきます。

養成部もたくさんの意見を出し合っただけで検討していますが、改めてFDの普及活動も含め、県連全体で取り組んでいく必要があると思います。

今回は30名の受講生と皆さんの協力を得て実りあるスクールにしていきたいと思っています。



第46回 フォークダンス指導者研修会

研修部 遠藤 ツヤ子



平成25年10月5日(土)～6日(日)、箱根高原ホテルにて、伊藤 隆夫・節子ご夫妻を講師にお迎えして、上記の研修会が参加者130名で開催されました。まず、節子講師による専門的なストレッチ体操で体も気持ちもほぐされてから、ルンバ、チャチャと種々な基本ステップを丁寧に分かり易く指導していただきました。

今回の研修内容は、ラウンドダンスの基礎ステップの意味を理解し、美しく踊る技術を身につける。ということでしたが、2日間は、これに尽きる思いでした。先生は、綺麗に見せるには、2人の姿勢と顔の位置とも話されました。

また、今回はラウンドダンスの間にイタリアの講習を、武井講師が「ジガ・ア・クアットウロ」。

高橋講師が「フィスケタン」)。と2曲全く異なる踊りでしたが、両講師の踊り込んだ分かり易い指導で踊ることが出来ました。これから神奈川から全国へと踊り継がれることでしょう。

また、大変お疲れのところを最終日には、伊藤ご夫妻による華やかなデモンストレーションを数曲ご披露なさいました。

全員が酔いしれる内、研修会が無事終了致しました。きっと参加者全員が満足された二日間ではなかったでしょうか。



ハローフォークダンスフェスティバルに参加して

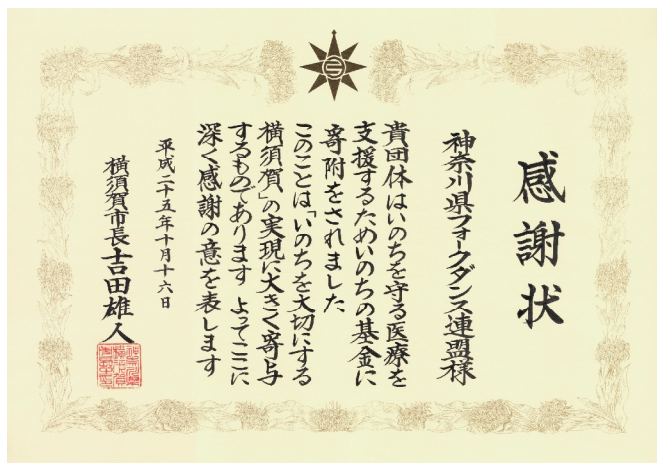
普及部 小池 美智子

今年度は10月16日(水)、横須賀市総合体育会館にて開催されました。台風26号のため、前日から心配されていましたが、交通状況がストップの混乱のため、会場まで数時間かかったり、参加することのできない方もいらっしゃいました。それでも500名余りの方が参加され行われました。

横須賀市長のご都合により、朝一番で「いのちの基金」に寄付をし、市長より感謝状を戴きました。

各パートでは、それぞれ楽しく踊ることができ、デモンストレーションでは多数の方が参加されました。衣装、そして踊りも素敵なデモを見せていただき、特に地域全体で多数参加の横須賀連合会のデモには感動させられました。

サブ会場で練習し、第7パートを全員で踊ることができ、とても楽しく思いました。最後の「カノン・ワルツァー」も会場全員で踊ることができ感動いたしました。今回は特に朝の準備段階で地元の方の協力をいただき、感謝申し上げます。そして何事もなく盛況のうちに終わることができ、スタッフ一同「ホッ」としています。





かながわ スポーツ・レクリエーション大会

行事部 河原 須磨子

今年は10月20日(日)県立体育センターのメインフロアにおいてレクリエーション卓球、パドルテニスと合同使用となりました。当日は雨天。

9月26日に大会の実行・運営委員会合同会議があり、そこで今年のメインフロア会場の終了時間は14時30分。

15時から他の団体が使用するためと告げられました。当初、終了予定時間は15時、すでにプログラムも完成。急遽見直し時間調整をしてプログラム内容は変更しないことに決定しました。

会場を合同使用ということで音量等の心配もありましたがお互い影響なく進行することができました。また、雨天の影響で参加人数も気になるところでしたが、昨年を少し上まわり232名の参加。今年もレクダンスと交互のパートで会場整理を行い、普段あまり踊らない踊りにも挑戦。とても良い時間の流れで予定通り。音響撤収も素早くでき、けが人もなく時間通り終了することができました。皆様お疲れ様でした。



ラウンドダンス講習会

普及部 金子 千恵子



10月31日(木)海老名市北部公園体育館に於いてラウンドダンス講習会が開催されました。参加者は251名。講師は伊藤隆夫氏・節子氏ご夫妻です。

初めはワルツでとても素敵な振り付けでした。2曲目はツーステップで何とハバナギラでした。3曲目はチャチャ、曲名はラ・クカラチャでフォークダンサーには2曲とも聞き慣れたメロディーなので楽しく踊れました。4曲目は伊藤ご夫妻の振り付けたタンゴ。普段聞き慣れない用語、リズムのとり方等々、頭もからだも疲れて消化不良でした。できればレベルの高い曲は2番目位に入れて

いただき少し時間もかけて下さったらと思ったのは私だけでしょうか。初めて参加した人に聞いたところ、タンゴは難しかったけれど講師の素敵な踊りを見せていただき参加してよかったと言っていました。

講習曲

- ・ ブラムス・ララバイ (ワルツ II + 1)
- ・ ハバ・ナギラ (ツーステップ II)
- ・ ラ・クカラチャ (チャチャ III + 1)
- ・ ダーク・アイズ・スリー (タンゴ III + 2)



臨時総会開催される

11月1日(金)、平成25年度第1回臨時総会が開催されました。議題は事務局を独立させるための規約変更で、ほぼ満場一致で可決されました。詳細は県連理事にお問い合わせ下さい。また、今年度中に変更後の規約をホームページ上に掲載する予定です。



フォークダンスジャンボリー 長野大会に参加して

野比フォークダンスクラブ 門松 茂雄

車窓から、紅葉の始まった山々を眺めながら長野へ。

第39回関東甲信静越フォークダンスジャンボリー長野大会が、平成25年11月2日(土)～3日(日)に長野市内で開催されました。会場は、15年前に長野オリンピックで建設され、12年前に日連の45周年記念大会で、県連として6台のバスをチャーターして242名が参加した懐かしいホワイトリングです。

オープニングは、ダンスブック・ストーンパーズの生演奏でスタート。音響効果は抜群、広々とした会場には、1都10県からフォークダンス大好きな700人(神奈川県30人)余りの参加者が、色とりどりの衣装で会場内は満開のお花畑と変わる。

プログラムはやさしい踊りが多く、バンドの生演奏で雰囲気盛り上げ、大勢のみなさんと共に、心地良い汗を流しながら楽しく踊り素晴らしい交流ができました。

今が信州りんごの最盛期。会場内には冷たいりんごが常時補給されて食べ放題。

ジャンボリーの目玉である夕食・交流会は、信州松代ロイヤルホテルの大宴会場で行われ、各県自慢の余興や珍芸が続出。お国の民踊では大勢の飛び入り参加があり、抽選会では最高に盛り上がり楽しい交流会でした。

閉会式では、西谷稔実行委員長から次期開催の群馬県の高橋理事長にペナントが引き継ぎされ、思い出に残る素晴らしかったジャンボリー長野大会は終了しました。

来年は、5月10日(土)～11日(日)水上温泉で開催されます。



発行責任者：神奈川県フォークダンス連盟 理事長 内田 美智子

連盟ホームページ：<http://www.cityfujisawa.ne.jp/~fd.fed.k/>

E-mail：fd.fed.k@cityfujisawa.ne.jp

編集後記：第74号は盛りだくさんの行事。天候不順もありましたが雨にも台風にも負けず、多数の参加者。結果は無事終了。

総務部編集委員一同